

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-4  
文化財の保存・継承と活用

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 文化財課古代文化センター長 稲田 大 電話番号 0852-22-6724

事務事業の名称	島根の歴史文化活用推進事業	
目的	(1) 対象	県民、国民等
	(2) 意図	しまねの豊かな歴史文化を、県民、国民に広め、県民には郷土への自信を培ってもらい、県外の方々にはしまねの歴史文化の素晴らしさを知ってもらおう。
事業概要	古代出雲文化シンポジウム（東京）開催、出雲国風土記シンポジウム（東京）開催、東京連続講座開催、出雲国風土記連続講座（松江）開催、隠岐国巡回講座開催、石見国巡回講座開催、古代歴史文化賞実施、古代歴史文化に関する共同調査研究実施、日本遺産講座開催など	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	講座・シンポジウム・記念行事参加人数	目標値		6,300.0	6,300.0	6,300.0	6,300.0	人
	取組目標値								
	式・定義	講座・シンポジウム・記念行事参加人数	実績値	6,800.0	5,626.0	6,408.0			
			達成率	-	89.4	101.8	-	-	%
2	指標名		目標値						
	取組目標値								
	式・定義		実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	79,723	114,668
うち一般財源 (千円)	79,723	113,997

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

古事記1300年や出雲大社大遷宮を契機として高まった国民の古代歴史文化への興味・関心を継続・発展させるため、以下のとおり島根の歴史文化の活用・情報発信を行う事業を実施した。

- ・東京、大阪でのシンポジウムや連続講座の開催
- ・県内に向けた出雲国風土記連続講座や、隠岐・石見の歴史文化に関する巡回講座・ワークショップの開催
- ・島根県立石見美術館及び益田市教育委員会等との共催で企画展「石見の戦国武将」の開催
- ・奈良県等と連携した第5回「古代歴史文化賞」の実施、古代歴史文化に関する共同調査研究の実施
- ・東京での松江城天守国宝指定記念展覧会及び関連講座の開催・広島での日本遺産講座の開催

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

講座やイベント等に積極的に取り組み、多くの県内外の方々にしまねの歴史文化の魅力を知っていただいた。

- ①古代出雲文化シンポジウム（東京開催）700名
- ②出雲国風土記シンポジウム（大阪開催）800名
- ③出雲国風土記連続講座（東京・松江市開催）1,030名
- ④隠岐国巡回講座・ワークショップ（隠岐の島町・知夫村開催）85名
- ⑤石見国巡回講座・ワークショップ（浜田市・益田市開催）610名
- ⑥古代歴史文化賞表彰記念行事（東京開催）900名
- ⑦古代歴史文化賞表彰記念行事（松江市開催）450名
- ⑧第4回古代歴史文化賞記念講演会（松江市開催）300名
- ⑨第3回古代歴史文化協議会講演会（東京開催）400名
- ⑩松江城展覧会関連講座（東京開催）641名
- ⑪日本遺産講座（広島開催）492名

このほか、企画展「石見の戦国武将」（益田市開催：11,669名）及び松江城展覧会（東京開催：20,155名）を開催した。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

引き続き、島根の歴史文化の認知度向上を目指して、全国に向けた様々なPRが必要

### ②困っている状況が発生している「原因」

歴史・文化への国民の関心を高めるためには、島根県単独の取り組みでは全国へ十分に浸透しない。

### ③原因を解消するための「課題」

島根県単独の取り組みのほか、他県と連携した取り組みにより相乗効果を上げられるよう、他県と調整する必要がある。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・東京オリンピック・パラリンピックが開催されるとともに、日本書紀編纂1300年の節目となる2020年に、奈良県と共同で東京国立博物館において開催する特別展「出雲と大和」の準備を進める。
- ・古代歴史文化賞では、共同主催者である他の4県に対して、地元マスコミへの周知や地元書店でのフェア開催の働きかけを行うよう呼びかける。
- ・古代歴史文化に関する共同調査研究では、14県で連携して成果図書刊行・展覧会開催などを行い全国へ向けて情報発信する。
- ・引き続き、県内外各地でのイベントや講座を開催して、多くの方々にお越しいただき、島根の歴史文化の浸透を図る。